

経営発達支援計画

令和3年度 事業評価検討委員会

— 事業報告書 —

(抜粋版)



府中町商工会

広島安芸商工会

広島東商工会

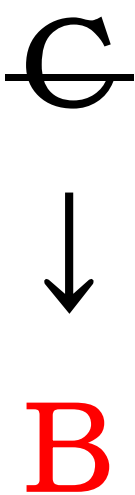
評価の方法【評価基準は、達成率による】

- A・・・事業計画の100%到達
- B・・・ 〃 80%～99%
- C・・・ 〃 30%～79%
- D・・・ 〃 30%未満
- E・・・事業計画に着手していない

1. 地域経済の動向調査に関すること【指針③】 【担当；檜山】

項目	3年度		自己評価	達成率(%)
	目標	実施		
申告財務データ等から情報を取得する事業者数①	1,100	961	B	87%
景況感に関する情報を収集する事業者数②	0	0	—	—
調査数合計(①+②)	1,100	961	B	87%
商工会管内の小規模事業者数に占める調査割合(※1)	30%	23%	C	78%
景気D I 調査実施回数(公表回数)	4	4	A	100%
経済動向調査公表回数	1	1	A	100%
ホームページ、会報による情報提供回数	4	4	A	100%
経済動向情報の巡回窓口相談時の提供件数	0	0	—	—
マーケット水準・特性評価情報の巡回窓口相談時の提供件数	600	58	D	10%

【商工会セクションリーダー記入欄】

(総合評価) 自己評価	コメント
	<p><良かった点・成果> 広島県商工会連合会提供資料を活用して、広島県全域を対象とした景況調査報告書を公開した。また、当エリアの小規模事業者の決算数値に基づいた財務データ報告書の公開により、地域内の景況状況を発信することができた。</p> <p><悪かった点・反省> マーケット水準・特性評価情報の提供用については活用シーンが少なく件数を増やすことができなかった。</p> <p><今後の課題> マーケット水準・特性評価情報については、効果的な利用促進方法を考える必要がある。</p> <p><3 商工会での支援を通じての成果ならびに反省> 商工会が提供する中小企業景況調査は数少ない小規模事業者を対象とした景況調査である。小規模事業者支援におけるマーケティング実施の際に役立つものと考えられることから、今後も計画策定支援の際、積極的に活用していきたい。</p>

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】 【担当；大形】

内 容	3 年度		自己 評価	達成率 (%)
	目標	実施		
経営相談等での 啓発事業者数①	360	144	C	40%
広島東商工会	150	94	C	62%
府中町商工会	90	12	D	13%
広島安芸商工会	120	38	C	31%
啓発セミナー	1	1	A	100%
啓発セミナー受講事業者数②	192	8	D	4%
広島東商工会	80	2	D	2%
府中町商工会	48	2	D	4%
広島安芸商工会	64	4	D	6%
啓発事業者数 合計①+②	552	152	D	27%
経営状況分析事業者数	216	80	C	37%
広島東商工会	90	51	C	56%
府中町商工会	54	11	D	20%
広島安芸商工会	72	18	D	25%

【商工会セクションリーダー記入欄】

(総合評価) 自己評価	コメント
D	<p><良かった点・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言で急遽、オンライン開催のみに変更することになったが、当初の参加希望者全員の出席のもと、開催することができた。 <p><悪かった点・反省></p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー出席者数が目標に対し大幅な未達となった。 ・コロナウイルス感染防止のため、席間を広く設定できるように広い会場を確保し Zoom 使用が困難な方には会場出席を案内したが、出席を強く勧めることができなかった。 ・セミナー開催に関する情報発信が遅くなった。 <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請経験者に占める事業計画策定者割合の向上。 ・啓発の早めの実施と複数の経営指導員等により意見交換を行いながら、これまで以上に時間を確保し進めることによる、分析における認知バイアス等を防止。

経営発達支援事業
～やりたいことを実現しませんか～

「経営の羅針盤としての経営計画」

100%将来を見通すことは不可能にしても、先行き不透明で変化の大きい経営環境だからこそ、経営環境などを大所高所から俯瞰した経営戦略や経営計画を策定することが必要です。

対象者 経営者、後継者、幹部、創業予定者

参加費用 無 料

開催時間 18時30分～20時30分

開催会場 安芸区民文化センター

開催方法 ハイブリット開催

●会場での受講を希望の方：会場にお越しください。
※会場での受講は事前予約が必要となります。
●オンライン受講を希望の方：Zoomによる視聴となります。
※Zoom参加費は別途必要となります。

日 程	セミナー内容
9月22日(水)	プレセミナー
10月7日(木)	1日目 事業計画書を作る7つのメリットと支援策等
10月14日(木)	2日目 事業計画書の全体像と要素等
10月21日(木)	3日目 計数計画について等 経営計画作成と個別相談

講師 江川 雅典
代表取締役
中小企業診断士

一気企業の代表を務める傍ら、中小・小規模企業に強い経営コンサルティングとして日々奮闘している。特に、経営の羅針盤として、事業計画書の作成に深く関与するの役割として多くの企業で活躍されている。また、経営工学のアプローチからの戦略立案や、経営戦略の刷新に力を入れている。マーケティング面でのアドバイスは多くの企業から支持されている。

【新聞折込や行政窓口、金融機関窓口等で告知したチラシ】



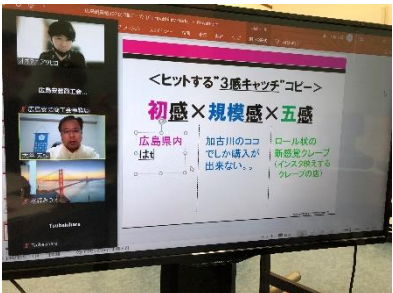
<3 商工会での支援を通じての成果ならびに反省>

・経営状況分析に関する事業は、他の支援事業と同様、3 商工会の当事業担当経営指導員を中心とするセクション体制で実施してきた。そのため幅広い視点で事業内容を検討・改善しながら支援事業を実施することができたが、日程調整及び意見調整に時間を多くの時間を要した。

3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】 【担当；大元】

内 容	3 年度		自己 評価	達成率 (%)
	目標	実施		
啓 発 事 業 者 数 (前ページ記載分再掲)	552	152	C	37%
広島東商工会	230	96	C	41%
府中町商工会	138	14	D	10%
広島安芸商工会	184	42	D	22%
創 業 塾	2	2	A	100%
創業塾受講者数	120	63	C	52%
広島東商工会	50	21	C	42%
府中町商工会	30	6	D	20%
広島安芸商工会	40	36	B	90%
事業計画策定セミナー	3	3	A	100%
セミナー受講者数	168	33	D	19%
広島東商工会	70	18	D	25%
府中町商工会	42	6	D	14%
広島安芸商工会	56	9	D	16%
個 別 相 談 会 (第二創業期等向け)	6	6	A	100%
相談会参加事業者数	24	15	C	62%
広島東商工会	10	5	C	50%
府中町商工会	6	8	A	133%
広島安芸商工会	8	2	D	25%
事業計画策定事業者数(※)	168	95	C	56%
広島東商工会	70	40	C	57%
府中町商工会	42	17	C	40%
広島安芸商工会	56	38	C	67%
売上高増加事業者割合(※3) (分母は事業計画策定事業者)	40%	11% (11 件)	D	27%
広島東商工会	40%	10% (4 件)	D	25%
府中町商工会	40%	5% (1 件)	D	12%
広島安芸商工会	40%	15% (6 件)	C	37%

【商工会セクションリーダー記入欄】

(総合評価) 自己評価	コメント
<p style="font-size: 48px; text-align: center;">C</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <p>←【経営計画策定セミナー3日間 オンライン活用の様子】</p> <p>↓【創業塾4日間は会場開催、 ※写真下 最終日は、兵庫県から オンライン開催】</p> </div> </div> <p><良かった点・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画策セミナーを計画通り3回開催する目標を達成。 ・創業塾を計画通り2回開催した。コロナ感染防止策を徹底し、会場集合してセミナーを開催。 ・第2創業個別相談会を計画通り計6回開催。昨年より5事業者が増加。 ・計画策定のために専門家派遣を36回(指導員@3回×12名)予定したが、30回実施でき、伴走型補助金を7回活用した。 ・計画策定者からは、コロナ禍で補助金活用ができ販路の維持によって、売上減少が食い止められた等の意見が強かった。 <p><悪かった点・反省></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画作成支援件数の目標については、目標を大きく下回り、95者(目標168者 達成率56%)の支援となった。 ・コロナ関連 給付金申請等の支援に大きく時間を取られ、セミナー受講者の未達や、計画策定の内、売上増加は1割程度であり、目標である支援先の4割達成には、到底至らなかった。 <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、受講者ニーズに対応したセミナー(例:オンラインセミナー等)の開催および、参加者への告知方法の検討が挙げられる。 ・手軽に受講できるセミナーであり、かつ伝わるセミナー等の開催実施の検討を行う。 <p><3商工会での支援を通じての成果ならびに反省></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5か年を通じて目標と実績の乖離は否めない。平成29年から始まった事業の中で、平成30年7月豪雨災害及び、復興間近での新型コロナウイルス感染症の拡大等で経営発達支援事業へ注力できなかった。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div>

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】 【担当；池田】

内 容	3 年度		自己 評価	達成率 (%)
	目標	実施		
事業計画策定後の事業者 へのフォローアップ延べ回数	720	502	C	69%
広島東商工会	300	229	C	76%
府中町商工会	180	32	D	17%
広島安芸商工会	240	241	A	100%
創業計画策定後の事業者への フォローアップ延べ回数	576	48	D	8%
広島東商工会	240	16	D	6%
府中町商工会	144	3	D	2%
広島安芸商工会	192	29	D	15%
承継計画策定後の事業者への フォローアップ延べ回数	288	4	D	1%
広島東商工会	120	4	D	3%
府中町商工会	72	0	D	0%
広島安芸商工会	96	0	D	0%
資金調達相談事業者への フォローアップ延べ回数 (経営計画策定支援事業者の内)	300	26	D	8%
広島東商工会	125	16	D	12%
府中町商工会	75	10	D	13%
広島安芸商工会	100	0	D	0%

【商工会セクションリーダー記入欄】

(総合評価) 自己評価	コメント
D	<p><良かった点・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請に関連した事業計画の策定が一定の数値を保っているため、事業計画策定後の支援については、高い水準を保つことができた。 <p><悪かった点・反省></p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業計画、事業承継計画、資金調達相談のフォローは昨年以上に悪化し、10%に満たない結果となった。長引くコロナから創業及び事業承継の先送り、給付金等の支給による融資申し込みの減少が原因と考えられる。 <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度は昨年度以上にコロナの影響を大きく受けた。社会情勢や施策の影響を受け、積極的な創業、事業承継、資金調達がなかったことも大きく影響した。持続化補助金等の補助金申請には一定数の需要があるため、事業計画策定後のフォローを軸にし、その他のフォローはニーズの掘り起こし段階から一貫した支援を実施する体制を整えなければならない。 <p><3 商工会での支援を通じての成果ならびに反省></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年 7 月の豪雨災害をはじめ、新型コロナウイルス感染症の拡大と、思うように計画を実施することができなかった。3

商工会で臨んだ計画ではあったが、3商工会で行うメリットを生かすことができなかった。
 大きな成果を残すことはできなかったが、今後も情報を共有し、支援を実施していきたいと考える。

5. 需要動向調査に関すること【指針③】 【担当；檜山】

内 容	3年度		自己 評価	達成率 (%)
	目標	実施		
需要動向調査① (Miena 等) の情報提供事業者数	168	57	C	34 %
広島東商工会	70	35	C	50 %
府中町商工会	42	8	D	19 %
広島安芸商工会	56	14	D	25 %
需要動向調査② (日経 POS) の情報提供事業者数	168	1	D	1 %
広島東商工会	70	0	D	0 %
府中町商工会	42	0	D	0 %
広島安芸商工会	56	1	D	2 %
消費者モニタリング調査③ の情報提供事業者数	168	0	D	0 %
広島東商工会	70	0	D	0 %
府中町商工会	42	0	D	0 %
広島安芸商工会	56	0	D	0 %

【商工会セクションリーダー記入欄】

(総合評価) 自己評価	コメント
D	<p><良かった点・成果> 件数は少ないながら、事業計画策定や各種補助金申請書類作成時にミーナ等のデータを提供することで、計画策定におけるマーケティングに役立てることが出来た。</p> <p><悪かった点・反省> ミーナやジェイスタッドマップ等の情報提供については昨年とほぼ同等の件数にとどまり、利用件数を増加することができなかった。日経POS情報の活用、消費者モニタリング調査については、ニーズを掘り起こすことができず実績はほぼゼロだった。</p> <p><今後の課題> 事業計画策定にあたって、マーケティングは重要な要素であるため、できるだけ多くの事業者を活用してもらえるよう広報していく必要がある。</p> <p><3商工会での支援を通じての成果ならびに反省> 特に小売業、サービス業でのマーケティングに活用することが出来た。できるだけ多くの事業者を活用してもらえるよう積極的に広報していく必要がある。</p>

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】 【担当；實谷】

内 容	3 年度		自己 評価	達成率 (%)
	目標	実施		
商品・サービスのPR支援件数（プレスリリース）	36	5	D	13%
広島東商工会	15	4	D	26%
府中町商工会	9	0	D	0%
広島安芸商工会	12	1	D	1%
WEBサイト・SNS活用支援件数（同活用事業 所数）	48 (24)	54 (20)	A (B)	97% (83%)
広島東商工会	20 (10)	15 (1)	C (D)	75% (10%)
府中町商工会	12 (6)	7 (7)	C (A)	58% (116%)
広島安芸商工会	16 (8)	32 (12)	A (A)	200% (150%)
即売会等出展事業者数（商談件数）	14 (11)	8 (44)	C (A)	57% (400%)
広島東商工会	7 (5)	3 (29)	C (A)	42% (580%)
府中町商工会	2 (2)	0 (0)	D (D)	0% (0%)
広島安芸商工会	5 (4)	5 (15)	A (A)	100% (375%)
専門家派遣件数	27	25	B	92%
広島東商工会	11	17	A	154%
府中町商工会	8	0	D	0%
広島安芸商工会	9	8	B	88%
いい店ひろしま顕彰事業 自薦事業者数	12			0%
広島東商工会	10			0%
府中町商工会（※1）	—		—	—
広島安芸商工会（※2）	2			0%

【商工会セクションリーダー記入欄】

(総合評価) 自己評価	コメント
C	<p><良かった点・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品・サービスのPR支援（プレスリリース）は講座の開催及び実施支援について支援件数は少なかったが新商品のPRを実施により2社でテレビ3回、全国誌2回、地方誌1回掲載された。 ・SNS活用支援についてはInstagram講習会、ユーチューブ動画作成講習会、スマートフォン活用講習会を開催し47名の参加・13件の活用があった。（別途7名支援7名の活用）特にユーチューブ動画チャンネルを本年8月に開設し5社のPR動画配信を実施した。2月末日現在チャンネル登録91名、総再生回数4467回あり、視聴者の来店へとつながっている。 ・販売会等出展支援については、ビジネスフェア中四国へ5社、その他2社商談支援を実施した。ブースの作成・FCPシートの作成・商品の説明支援を実施し合計44社と商談できた。販路開拓による専門家派遣は23回実施し以下の成果があった。 <p>A社 一般顧客100人増加 年間売上100万円増加</p>

B社 一般顧客 200 人増加 年間売上 100 万円増加



<悪かった点・反省>

- ・商談や販路開拓の機会となる東京広島県人会、ビジネスマッチングフェア、広域物産展、いい店ひろしま顕彰事業が延期又は中止となり、機会を逸してしまった。(一部振替としてオンラインによる商談会が3月に開催される)
- ・ビジネスフェア中四国では首都圏との商談がオンラインとなり商品は事前に送付したものの、調理が必要な商品は試食していただけなかったため、説得力に欠けた。

<今後の課題>

- ・販路開拓については、今後オンライン開催が増加していくが、試食が困難な商品の説明方法や相手との距離感に課題があるものと思われるため、オンライン商談の方法を対策する必要がある。
- ・インスタグラムやユーチューブなどのSNS等の活用について継続して積極支援を行うがレベルに差があるため、個別支援を増加させるなどのフォローが必要である。

<3 商工会での支援を通じての成果ならびに反省>

- ・ビジネスフェア中四国では専門家の活用が共有でき、出展準備において大きく差が出ず出展者に対して同等の支援を行うことが出来た。
- ・SNS 講習会は補助対象外事業で単会での開催となったが、募集を3商工会で共有できなかったことが反省である。

II. 地域経済の活性化に資する取組 【担当；岩田】

1. 地域活性化事業

内 容	3年度		自己 評価	達成率 (%)
	目標	実施		
関係団体との連携による創業相談件数	12	6	C	50%
当事業に関する経営発達支援会議の開催	4	3	C	75%
創業者からの意見聴取	1	1	A	100%
広報活動回数	4	6	A	150%
支援制度利用者数	12	6	C	50%
創業者数	24	35	A	145%

【商工会セクションリーダー記入欄】

(総合評価) 自己評価	コメント
B	<p><良かった点・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、目標達成のためセクション会議を開催し、昨年度に続き、概ね目標を達成することができた。 ・支援制度のPRについては昨年度同様、創業塾開催チラシの裏面に各商工会の支援制度を掲載し、チラシを商工会ホームページにアップし新聞折込も行い周知した。 ・関係団体との連携による創業相談件数が目標値に達しなかったものの、創業者が直接商工会へ相談に来会したため、目標値の145.8%と増加した。 <p><悪かった点・反省></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体との連携による創業相談件数が目標値の16.7%に留まった。要因として、相談件数の多くを確定申告時期における、窓口相談会及び記帳説明会での相談者を見込んでいたが、コロナ対策のため、取組む事が出来なかった。 ・意義ある創業支援制度の告知等を行っているものの、相談の時期によっては、利用件数の増加に結びつかない。 <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも、創業者は一定数いる。この創業者のニーズを的確に把握し、必要な支援施策等を適切に伝える必要がある。 <p><3商工会での支援を通じての成果ならびに反省></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西日本豪雨災害の発災以降、新型コロナウイルス感染症により、事業を取組む事が難しい状況が続いている。今後は南海トラフ地震の発災も懸念されているため、事態に即した対応を従前から検討しておくことが必要である。

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

【担当；今永】

内 容	3年度		自己 評価	達成率 (%)
	目標	実施		
近隣商工会組織 との連携・情報交換	1	0	D	0%
日本政策金融公庫 との情報交換会	2	2	A	100%
経営支援情報交換会議	2	0	D	0%

【商工会セクションリーダー記入欄】

(総合評価) 自己評価	コメント
D	<p><良かった点・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大により、開催が困難な中でも、日本政策金融公庫と経営支援情報交換会議を開催することが出来た。この取組みにより、コロナ無利息融資等の支援制度を改めて認識することが出来た。また、3商工会が行うマル経融資等の広報活動を共有することが出来たので、参考になる面が多かった。 <p><悪かった点・反省></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大により、緊急事態宣言やまん延防止措置の発令の影響から日程調整が難しく、当初予定していた、「近隣商工会組織との連携・情報交換会」、「経営支援情報交換会議（2回）」を実施する事が出来なかった。そのため、目標数値を達成することが出来なかった。 ・毎年、各支援団体との情報交換会議が効果的ではあるが、新たに事業者支援を行う団体を見つけることが出来ず、選定が難しかった。 <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大により、支援事業者からのニーズが多岐に渡ることから事業者の要望をしっかりと聞き取った上でテーマを設定し、その分野で支援を行っている団体と情報交換会議を行う必要がある。 ・事業者支援団体を数多く知っておく必要がある。 <p><3商工会での支援を通じての成果ならびに反省></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各商工会での取り組み内容を共有できる点について、参考となる点が多いことから情報提供方法について成果はあったと思われる。 ・支援事業者のニーズや要望の掘り起こしについて、共有が難しく、出来ていなかった点が反省点。

2. 経営指導員等の資質向上に関すること 【担当；渡邊】

内 容	3 年度		自己 評価	達成率 (%)
	目標	実施		
○ J T の実施	2	2	A	100%
3 商工会の独自 研修会の実施	3	3	A	100%
改善手法モデル作成	1	1	A	100%

【商工会セクションリーダー記入欄】

(総合評価) 自己評価	コメント
A	<p><良かった点・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・○ J T の実施については、専門家派遣回数 1 6 9 回（経営指導員 1 人当たり平均 1 4 回）を実施し、経営計画や販路開拓など様々な専門家の支援ノウハウを吸収することが出来た ・独自研修会については、新型コロナの影響により様々な問題や業務効率化への対応など、指導員が事業者への支援向上のため Z o o m による商談方法の講習会や D X 講習会に参加したことで支援基礎能力に関するノウハウを習得することができた。 ・経営指導員が実施した経営改善事例を共有したことで、他の事業者支援の際の改善手法モデルとして活用することに繋がった。 <p><悪かった点・反省></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事業の経過年数を考えると、年度の早い時期に企画・開催すると、より効果が期待できたのではないかな。 <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での支援策が目まぐるしく変化する中で、今後の市場動向を予測し、時流にのったテーマの研修会を開催していく必要がある。 <p><3 商工会での支援を通じての成果ならびに反省></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各指導員の支援事例を共有することで支援の幅が広がったことは成果であると思われる。 ・各指導員が抱える支援方法の問題点や課題などの共有化が図れなかったことが問題点である。

3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること 【担当；成瀬】

【商工会セクションリーダー記入欄】

(総合評価) 自己評価	(総合評価) 自己評価コメント
B	<p>アンケートー事業計画作成先 95 社 (91 社 回答率 95%)</p> <p>【内訳】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 作成事業者の業種 ①サービス業 42%、②卸・小売業 21%、③建設業 18%、④製造業 12%、⑤その他 7% 2. 計画作成の目的 ①補助金活用 49%、②資金（融資）19%、③販路開拓 14%、④創業 10%、⑤経営改善 6%、⑥事業承継 1%、⑦その他 1% 3. 経営計画作成満足度 ①とても満足できた 65%、②満足できた 32%、③あまり満足できなかった 3%、④全く満足できなかった 0% 4. 商工会が行う当支援事業について <ol style="list-style-type: none"> ①事業計画が作成できて良かった 30% ②現状を分析する良い機会だった 16% ③将来の展望を考える機会を得られて良かった 14% ④販路開拓に役立った 12% ⑤無料でできたので良かった 10% ⑥派遣された専門家の指導や助言が役に立った 8% ⑦商工会から提供される資料が有効だった 6% ⑧参加したセミナーが有効であった 3% ⑨その他 1%、⑩特によいものがなかった 0% 5. 職員の対応 <ol style="list-style-type: none"> ①とても熱心に取り組んでくれた 57% ②こちらの意見を汲み取り良い計画ができた 43% ③あまり良くなかった 0% 6. 今後の支援希望 <ol style="list-style-type: none"> ①継続したい 65%、②必要な時だけ支援をお願いしたい 34% ③希望しない 1% 7. 支援後の売上高 ①横ばい 54%、②増加 23%、③減少 23% 8. 支援後の利益率 ①横ばい 54%、②増加 24%、③減少 22% <p><良かった点・成果></p> <p>・事業計画を策定した事業者は、計画が作成できたことについて満足できたと回答した方が 97%を占めており、事業として非常に高い評価を得ている。また、補助金獲得を目的とした事業計画策定が多く、昨年に比べ売上高や利益率が改善してきている。今後も計画策定支援事業の必要性和フォローが重要である。</p>

<悪かった点・反省>

・今年度も、コロナウイルスの影響により、予定通りに事業者への伴走型支援が出来なかったこともあり、思ったような成果が出なかった。コロナウイルスの影響を受けている事業所に対して、重点的に支援していく必要がある。

<今後の課題>

・徐々にコロナウイルスの影響を受けた事業所も経営状態が改善してきているため、より事業者への伴走型支援を強化して、事業計画の見直しや計画目標の達成に向けた支援を行う必要がある。

<3商工会での支援を通じての成果ならびに反省>

・平成29年から始まった5年間の事業計画は、平成30年の西日本豪雨災害や新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が予定通りに進まなかった事もあり、目標が達成できなかった部分もあるが、3商工会でのネットワークにより、様々な支援策等、情報共有できたことは一定の成果があったと思われる。

【まとめ】

5年間を通じた3商工会での経営発達支援事業は、各商工会の経営指導員を中心とするセクション体制により実施してきたが、事業を進めて行くうえで、各商工会同士での日程調整や意見調整等、事務が繁雑となり多くの時間を要した。一方では、各商工会での取り組み内容の情報共有や幅広い視点で事業内容を検討・改善しながら支援事業を実施することができた事は、成果であったと思われる。

今後、コロナウイルス感染症対策も検討しながら、各商工会で地域の実態に即した事業を実施して、小規模事業者に寄り添った支援を行う必要がある。